

# 全員協議会

平成21年9月24日

文教施設整備計画と説明会の予定について

整備計画案に認定ことも園を加えた、地元説明会の資料を基にして説明。

## 主な質疑

- Q：資料の執筆者はどこか、小規模校のメリット・デメリット、保育園に関わる記述について携わっている教員、保育士の意見意向がどう反映されているのか。
- A：執筆はそれぞれ総務課、町民課、教育課の担当部署で行う。小規模校のメリット・デメリットについては平成20年1月に「新潟県市町村立小学校の望ましい教育環境整備検討会議」の資料を引用した。
- Q：5年生の50分授業とか、6年生は卒業して7年生になるのか。カリキュラムを4・5・2にするには特区を執つてから行うことと受け止められるがその辺はどうなるのか。

A：特区を活用しない現行制度の中で、学習指導要領に基づいて英知を結集することで二貫教育の制度を進める方式だ。授業時間は小学校・中学校にそれぞれ校長・教頭・教員を配置しているから小学校を卒業して、中学で7年生となる。

Q：地元説明会の説明時間、質問時間の割振りはどうなるのか。

A：小学校入学・卒業、中学校入学・卒業順の現行制度の中で行うが、今後検討委員会でも細かく検討する。地元への説明会は夜の7時30分から9時までを予定しているが、説明で半分以上費やされる。質疑時間が足りないようであれば延長することも考えている。

Q：地域説明会は各地区一般町民と保護者とを分けて2回実施されるが、そこで参加者の多少に関わらずその場の意見として最終判断されるのか、後で更

に調査するのか。

A：ここでは検討会での基本的な考えを示している。あとは検討委員会を立ち上げる中で検討する。また、地域の意見集約をどの時点で行うのか、アンケートも検討会では考えているが、その区切る時点については今は控えさせて欲しい。

Q：保育所型認定ことも園は今までとどう違うのか。

A：従来の保育園に幼稚園機能が付加され、保護者の就労に関わらず入所できる。従って、8時間の保育園と4時間の幼稚園が選択され、それぞれの料金が体系化される。

(財)湯沢町都市施設公社から新法人への移行について

9月24日に県の認可が下り、10月1日をもって、財団法人湯沢町都市施設公社は一般財団法人湯沢町総合管理公社となる。

## 主な質疑

特になし

越後湯沢駅構内のリニューアルについて

湯沢駅を地域の観光拠点として位置づけたコンコースの空間、トイレのバリアフリー化、女性用トイレの拡張、待合室のリニューアル、観光案内所、地元産品の更なる発展強化、駅商業施設のリニューアル、ガーラ湯沢の活性化をJR東日本事業創造本部が取り組んでいる。

## 主な質疑

Q：JRの施設である駅の改造であるが、地元商工会・商店街等の組織と話し合いが行われたのか。

A：計画の説明会には商工会と同席して説明を受けているが、情報は遅れがちで協議の場はない。ただ、施設運営しているトッキーからの依頼を受け、商工会で二度地元業者にテナント出店の説明会があったが、その後は個別に交渉しているようだ。従って商工会が仲介してはいない。

Q：雁木どおりの出店ブーに湯沢町の業者は入っているのか。

A：内容は存じていない。

## 主な要望

・駅前は一等地、特等地である駅中を整備すれば、駅周辺は寂れる一方である。これまで町は相当協力してきたことを配慮して地元業者を入れてほしい。また、奥の未整備区域はどのような整備計画が調べたい。

・広域を含めた観光案内所の正しい情報発信をして欲しい。町と町観光協会が連携してニーズに沿った町の顔が見える観光にしたい。そのために場所の確保に金がかかるのもやむを得ない。県や町長からも働きかけて欲しい。

ガーラ湯沢スキー場下山コース整備について

下山コースと避難路として約2,620mに100mのトンネルを含めた整備計画である。以前から強風によるゴンドラリフトの長時間の停止でお客さんが下山できない事態が続く問題があった。この解決策として従来の下山コースに拡幅造成する整備計画である。